

保険 27年度からの保険料大幅値上げ示す

県内で2番目に高い保険料をさらに値上げか

12月中旬に開かれ第3回介護保険事業計画等策定懇話会において、市当局から来年4月からの3年間の介護保険事業、第6期（平成27年度～29年度）の施設整備や給付見込みについて方向性が示されました。

政府は、「平成37（2030）年に向けて、地域包括ケアシステムを構築してゆく」としており、市の計画もそれに沿ったものです。

介護保険料は、月額1200円超の大幅引き上げに
介護保険料については、高齢者数、要介護認定者数、サービス提供量などを推計し、いずれも増加傾向であることを理由に、「基準額で月額約6600円～6800円程度と試算した」と説明がされ、これまでに比べる約1200円～1400円の大幅引き上げが示されました。

現在、鶴岡市は庄内町に次いで県内で2番目に高い保険料となっており、介護保険が始まった平成12年度（2750円）に比べると2・4倍の負担になっています。



関とおるの きっぱり発言「ドンドン行動」

吉村知事に要請

19日（月）、党山形県委員会として、「2015年度県政運営に関する提案・要望」を知事に提出、若干の時間懇談しました。

懇談には、渡辺ゆり子県議、白根沢澄子県議候補、私が参加。党県議を3人にして、懇談時間も拡大したいと強く感じました。

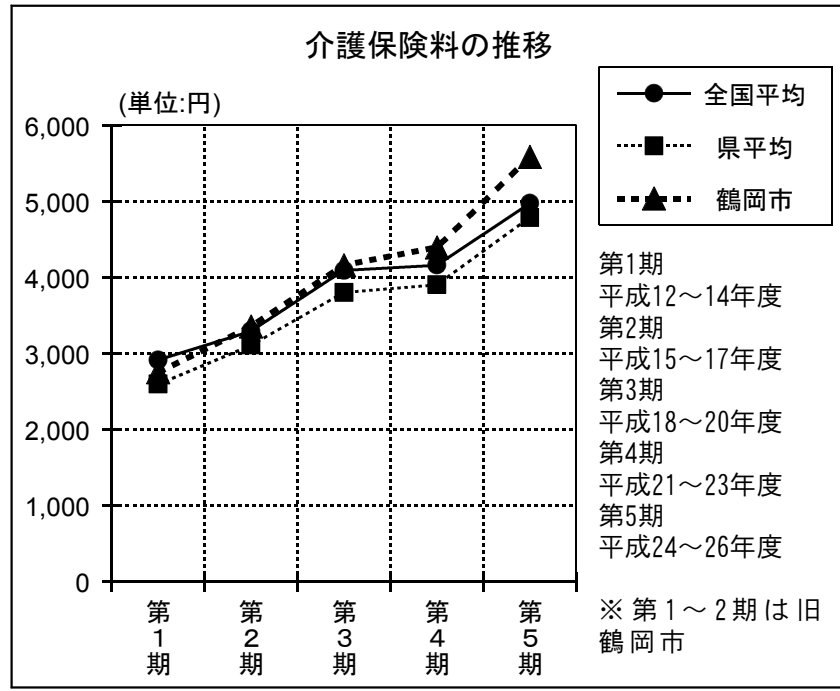
要望書は全体で144項目に渡るものですが、時間が限られていましたので、特に左記の3項目について取り上げました。

①国に最低賃金時給で千円以上の引き上げを、中小企業支援と一体で求める、②子育てに対する経済的支援を強め、子どもの貧困対策として大学生などへの給付制の奨学金制度を創設する、③介護保険制度改悪に対し、サービスの低下を招かないようにする、です。

私は③について、鶴岡で施設退所を迫られる事例などを紹介、知事は真剣に耳を傾けていたように



手前から吉村知事、渡辺県議、関、白根沢氏
=1月19日、県庁内



備については、「介護を要する高齢者が増加していることから、住みなれた地域での在宅サービス充実させるとともに、施設サービスについても適切な水準を確保することを基本にする」とし、特別養護老人ホーム（増床・小規模特養）90、グループホーム70、小規模多機能型居宅介護事業所130を計画しています。

市の特別養護老人ホームの待機者は、昨年3月末で1409人、うち要介護3以上は1006人であり、待機解消のためには大幅に不足しています。

「公費5割、保険料5割」では限界に

今回、法改正で「公費投入による低所得者の保険料軽減」が法制

化されますが、軽減対象は市民税非課税世帯の被保険者で65歳以上の約3割です。

高齢化が進む中で、「公費5割、保険料5割」の現在の介護保険の財政的枠組みは、高齢者の負担できない高額な保険料を招くことになり、「限界」を超えています。

国に負担を求めるとともに、市の一般会計からの繰り入れを実現することが必要です。

今後、市は2月17日に予定している第4回介護保険事業計画策定懇話会で計画案が出され、その後市民に対し市ホームページなどでパブリックコメントを求め、計画案をまとめた上で、3月市議会で介護保険条例の改正が提案される予定です。

国保広域化に向けての対応 各市町でバラバラ

庄内地区国民健康保険運営協議会

のかな。

庄内地区国民健康保険運営協議会の委員研修会が12月24日、庄内町響ホールで開かれ、加藤敏一市議が参加しました。

2市3町の国保の現状について各担当課長が次のように要旨報告しました。

酒田市は、平成24年度に大幅な改正をし、税目の割合を見直した。

それまで所得割40、資産割10、均等割35、平等割15だったものを、資産は実際に利益を生んでいないということで、所得割45、資産割5の割合とし、資産割を引き下げた。基金は条例上約10億円必要だが現状約6億円を維持し、広域化では財政安定基金をつくるという話もあり、市町村の持ち出しもある

のかな。

三川町は、医療分は2年ごとに税率見直しの方針で、26年度は所得割を引き上げ資産割を大幅に引き下げた。

広域化にあたっては基金を取り崩して税率を上げないようにしていきたい。

鶴岡市は、25年度に改定し5年ぶりの黒字決算となった。

27年度は共同事業がレセプト1円以上に拡大され約1億円の拠出超過額がぐっと圧縮になる見込みだ。

基金の適正水準11億円に対し5億5千万円で、1ヶ月の保険給付費7億1千万円程度の水準までは保有したい。

遊佐町は、3ヵ年財政計画の中で法定外繰入を年5千万円計画した。

今年インフルエenzaの予防接種を中学生まで1回1500円の助成をおこない、将来的には医療費助成を高校生までやりたい。

県一本化に向けては、法定外繰入をやめ、基金取り崩しと収納率向上で対応し、税率引き上げは考えていない。

庄内町は、23、24年度に税率を引き上げ、来年度は特に農家の所得減少を見込み税率改正を諮問している。

基金は現在1300万円に減少し、月1億数千円円の支払いにも到底及ばず、予算上基金をあてにできない。

除雪費など追加、29日に臨時議会

市議会云云派代表者会議

15日、鶴岡市議会議派代表者会議が行われました。

会議では、関徹、佐藤聡前市議の辞職に伴う議会の構成について協議しました。

議席番号は従来通りとし前議員の議席番号は欠番とすること、両氏が所属していた産業建設常任委員と総務常任委員の定数は変更せず一人欠員の7名とすること、総務常任委員

長は3月議会で選出すること、としました。

会議では、市立荘内病院の医師公舎の引き渡し予定日が当初の3月16日から6月30日に延期すること、同病院の統合医療情報システム更新業務委託に係わる履行期間を平成26年3月17日から平成27年1月31日としていたものを5月31日まで延長すること、鶴岡市として「福祉灯油」を実施

建築課入札結果（ ）内は予定価格

1月15日入札分

- ・羽黒庁舎改築工事用木材 1次製材業務委託
出羽庄内森林組合 12,000,000円 (12,027,000円)
期間～3/31 (落札率99.8%)
- ・鶴岡市消防署北分署(仮称)移転新築地質調査業務委託(道形町12-17) 新和設計(株)庄内営業所 5,100,000円 (5,411,000円)
期間～3/20 (落札率94.3%)
- ・鶴岡市消防署北分署(仮称)移転新築実施設計業務委託(道形町12-17) (株)石川設計事務所 4,450,000円 (4,620,000円)
期間～3/31 (落札率96.3%)

都市計画課入札結果（ ）内は予定価格

1月15日入札分

- ・タブの木ポケットパーク(仮称)整備工事(馬場町地内)
鶴岡建設(株) 10,900,000円 (10,986,000円) 工期～3/31 (落札率99.2%)

生健会が恒例の新年会・タラ汁会を開催

鶴岡生活と健康を守る会(遠藤喜一郎・会長)は、恒例の新年会・タラ汁会を18日に事務所で開催しました。

また、県議選に立候補予定の関とおる前市議もあいさつに訪れ、

遠藤会長は「安倍政権の暴走政治で、市民生活の困難な状況が広がっている。今年も健康に気をつけて、市民の暮らしを守るためにがんばりましょう」とあいさつし、菅井市議が、会が要望してきた

「県議会で多数を占めるのが自民党派だ。県民の医療・福祉・くらしを守るために、共産党の議席を増やすこと、とりわけ鶴岡で議席を取り戻すために全力でがんばる」と決意を述べました。



参加者は、「一人ぐらしで、タラ汁はめったに食べられない」「今年初物だ」と笑顔で、女性会員が作ったタラ汁や、持ち寄った漬物、和え物、ごはんなどを食べながら楽しく交流しました。

すること、の説明が行われました。

に5億円の補正予算を組むこととなり1月29日に臨時議会を開催することとしました。

また、除雪費の当初予算5億6千万円を

使

庄内各市町の国保税(医療分)の税率 平成26年度予算

	所得割 %	資産割 %	均等割 円	平等割 円	一人当たり 調定額(円)	収納率 %
鶴岡市	6.00	19.50	24,000	20,000	61,667	92.28
酒田市	7.10	12.40	21,800	17,100	57,190	91.86
三川町	6.00	13.00	23,000	22,000	66,913	94.80
庄内町	6.35	12.50	26,700	13,000	65,997	94.50
遊佐町	6.17	13.64	24,000	19,100	61,476	94.00
市町平均	6.32	14.21	23,900	18,240	62,649	93.49